

当別町の 財政状況

皆さんの納めた税金は、どのように使われているのでしょうか。

平成28年度決算と平成29年度予算の上半期の執行状況などについて、お伝えします。

■ 問合せ 財政課財政係 (☎ 23 - 2331)

財政状況をホームページで 公表しています

当別町では毎年2回、「町の財政がどのような状態にあるのか」をお知らせするため、「収入及び支出の概況や住民負担の状況」などを説明した「財政事情説明書」を公表しています。

公表期間は11月1日から1年間です。

■ 町ホームページ

<http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/>

平成28年度 各会計収支決算状況

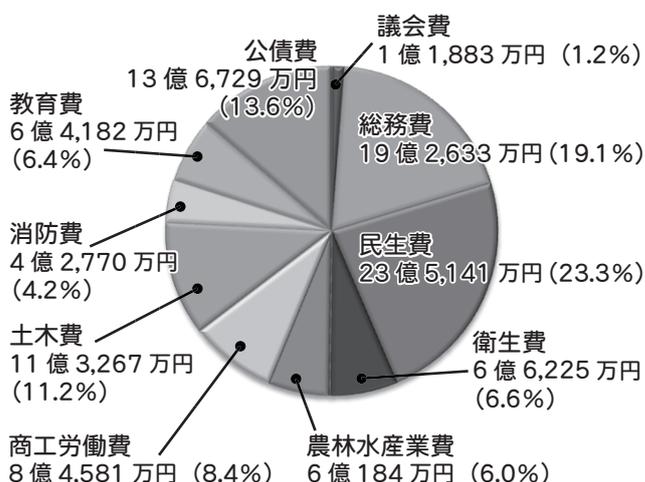
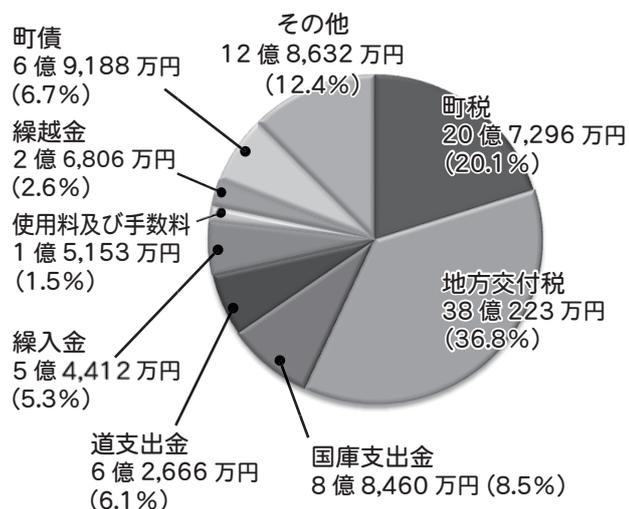
一 般 会 計

歳入 103億2,836万円

歳出 100億7,595万円

町税	町民税、固定資産税など
地方交付税	国から交付される自主財源
国庫支出金	国からの補助金など
道支出金	道からの補助金など
繰入金	基金（貯金）からの補足分
使用料及び手数料	施設使用料等の実費負担分
繰越金	前年度予算の残額
町債	町の借り入れ
その他	寄付金など

議会費	議会の運営費など
総務費	庁舎管理など
民生費	福祉経費や保育所運営費など
衛生費	ごみ処理、保健衛生事業など
農林水産業費	農地、山林、農道等の整備
商工労働費	商工業、観光事業など
土木費	道路整備や維持管理、除雪など
消防費	消防活動、救急救命など
教育費	学校維持管理、社会教育事業など
公債費	町債（借金）の返済



特 別 会 計

(単位：万円)

会計名	歳入	歳出	実質収支額
国民健康保険	24億6,830	25億1,685	▲4,855
下水道事業	9億3,426	9億2,294	1,132
介護保険	14億8,241	14億3,159	5,082
介護サービス事業	6,892	6,779	113
後期高齢者医療	2億1,221	2億738	483

水 道 事 業 会 計

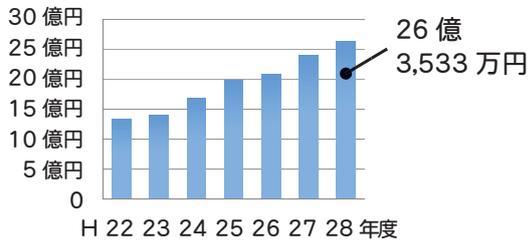
(単位：万円)

区分	収入	支出
収益的収支	7億1,403	6億7,781
資本的収支	4,257	1億5,137

基金と町債の状況

平成28年度末現在の基金と町債の残高は、次のとおりです。

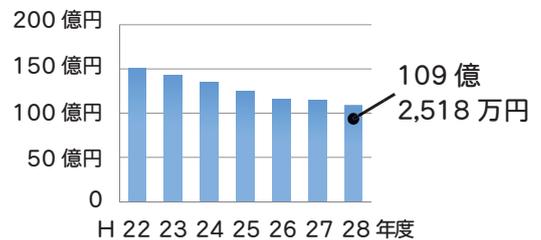
～基金残高の推移～



※基金とは

将来の多額の出費等に備え、あらかじめ用意しておくお金です。

～町債務残高の推移～



※町債とは

道路整備のように臨時的に多額の費用が必要となるときに、町が国や銀行などから借り入れる資金です。

平成28年度に取り組んだ主要事業

■ (仮称) 当別町道の駅建設工事 5億9,520万円

(仮称) 当別町道の駅実施設計に基づき、当別町道の駅建設工事のうち外構、地中熱ヒートポンプ設備、建築主体、電気設備、機械設備の工事を行い、直売所棟は3月に完成し引き渡しを受けました(道の駅棟工事は平成29年度も継続実施)。

■ 当別町生涯活躍のまちづくり基本構想策定事業 3,284万円

当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、当別町生涯活躍のまちを推進するため基本構想を策定しました(基本構想検討協議会の開催、首都圏居住者アンケート調査・関連事業者ヒアリング調査の実施、生涯活躍のまちづくりセミナーの開催)。

■ 高規格救急自動車整備事業 2,786万円

高規格救急自動車の更新を図ることで、車両整備の費用やそれにかかる時間が少なくなり、住民の救急需要に対し、安全に対応できる体制を維持することにより、救急業務の高度化、救急ニーズの多様化に対応可能となりました。また、新たに自動心臓マッサージ器を搭載し、心肺停止状態の傷病者に有効な心臓マッサージを施すことができ、住民に対し、高度な救命処置が可能となりました。



平成28年度末現在の財政状況

☆財政健全化法に基づく健全化判断比率

自治体の財政状況が健全かどうかを判断する指標として、健全化判断比率があります。

平成27年度に引き続き、平成28年度もいずれの数値も下回っており、早期健全化団体には該当しません。

指標	平成27年度 数値	平成28年度		
		数値	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 一般会計の単年度内の 収支、赤字・黒字の比率	赤字なし	赤字なし	14.36%	20%
連結実質赤字比率 全ての会計の単年度内の 収支、赤字・黒字の比率	赤字なし	赤字なし	19.36%	30%
実質公債費比率 自治体の借金返済に係る比率	14.7% (全道ワースト11位)	13.9% (全道ワースト16位)	25.0%	35%
将来負担比率 自治体の負担として将来必要に なる額の比率	107.4% (全道ワースト16位)	103.0% (全道ワースト16位)	350.0%	—

☆当別町財政運営計画の状況

本町は平成 26 年度より「第 2 期当別町財政運営計画」に基づき財政健全化に取り組んでおり、国が定めた 4 つの健全化判断比率による早期健全化団体には該当していませんが、そのうち実質公債費比率と将来負担比率が道内市町村の中でも高く、今後も継続して財政の健全化を進める必要があります。計画で定めた目標と平成 28 年度決算の状況は、右のとおりです。

	平成 28 年度	平成 30 年度 (目標値)
実質公債費比率	13.9%	12% 以下
将来負担比率	103.0%	125% 以下
地方債残高	109 億円	110 億円以下
財政調整基金残高	6.6 億円	7 億円超

平成 29 年度 予算の上半期執行状況

平成 29 年度予算、各会計の 9 月末現在の執行状況は次のとおりです。

会計名	予算額	収入済額 (収入率)	支出済額 (支出率)
一般会計	95 億 3,585 万円	50 億 291 万円 (52.5%)	41 億 8,901 万円 (43.9%)
うち平成 28 年度繰越明許費	7,687 万円	6,084 万円 (79.1%)	5,899 万円 (76.7%)
特別会計	52 億 7,638 万円	20 億 2,165 万円 (38.3%)	20 億 4,740 万円 (38.8%)
国民健康保険	25 億 6,209 万円	8 億 6,585 万円 (33.8%)	10 億 6,812 万円 (41.7%)
下水道事業	9 億 4,053 万円	3 億 6,049 万円 (38.3%)	2 億 8,872 万円 (30.7%)
介護保険	14 億 9,055 万円	6 億 9,810 万円 (46.8%)	5 億 8,665 万円 (39.4%)
介護サービス事業	6,979 万円	2,242 万円 (32.1%)	3,414 万円 (48.9%)
後期高齢者医療	2 億 1,342 万円	7,479 万円 (35.0%)	6,977 万円 (32.7%)
合 計	148 億 1,223 万円	70 億 2,456 万円 (47.4%)	62 億 3,641 万円 (42.1%)
水道事業 会計			
収益的収入	6 億 8,929 万円	3 億 3,615 万円 (48.8%)	—
収益的支出	6 億 6,517 万円	—	1 億 3,498 万円 (20.3%)
資本的収入	8,182 万円	458 万円 (5.6%)	—
資本的支出	2 億 806 万円	—	7,379 万円 (35.5%)

※平成 29 年 9 月末現在の執行状況です。

※予算額については、上半期における補正額及び繰越明許費（前年度から繰り越して使用することができる経費）を含んでいます。

※収入と支出の時期の違いにより、収入が一時的に不足している会計については、会計間で一時的な運用がされています。